

真庭市在住の映画監督に聞く



# いま、一揆の映画を つくること。

「一揆の映画を、一揆を起こすかのように作り、上映しよう!」と映画『新しき民』が製作されている。江戸時代に美作地方で起きた山中（さんちゅう）一揆。過酷な年貢の取り立てに対し数千人の農民が立ち上がったが、鎮圧され 51 人が処刑された。300 年たった今も、地元では義民として語り継がれ顕彰活動が行われている。映画では、一揆の後、身重の妻を残して村を離れたが、数年後再び戻った青年の心の葛藤を描く。

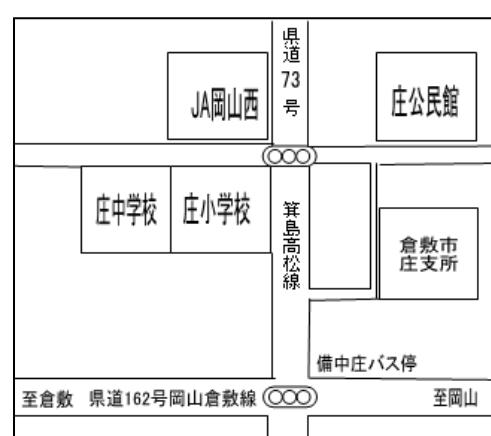
## 講師

### 山崎 樹一郎 (やまさき・じゅいちろう)

1978 年大阪出身。岡山・真庭在住。農業を続ける。映画監督として『ひかりのおと』(2011)を製作。岡山県内 51 カ所巡回上映する一方、東京やロッテルダムの国際映画祭にて上映される。ドイツ・ニッポンコネクションにてニッポン・ヴィジョンズ・アワード受賞。また映画上映・製作グループ [cine/maniwa] として岡山芸術文化賞グランプリ、福武文化奨励賞を受賞。

## 会場

庄公民館大会議室  
どなたでも参加  
できます。



2014年10月4日(土)  
2時▶3時半

※駐車場が狭いので乗り合わせてお越しください。